



2022年 3月 3日
第150号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



社員・家族の幸福？ 私たちの生活実感は厳しくなっている！

組合員・家族の声 パート①



クリスマスプレゼントやお年玉を減額して子供たちにも影響

食費・旅行削減。貯金減少。

外食の回数減、余暇の費用減

買おうと思ったものを諦めました。実家の修繕費用を減額しました。

年末手当は住宅ローンの支払いと子どもの塾代でなくりました。いつもは夏季手当と年末手当で翌年5月の固定資産税のお金をフルしておくのですがフルへ回すことが出来ず、月の休日出勤で固定資産税分を少しずつ補うのが現状です。

夏の家族旅行が節約近場になってしまった。また、日々の食費を節約するようになった。

家のローンの支払いでボーナスはなくなり子供の学費などは貯金を切り崩し対応。生活も一変した。

コロナ前に比べて制限するようになりました。

外食や旅行などの娯楽費の減少 おでかけがへいました。



貯金を切り崩した。それも今回が限界。年2回のボーナスもローンの返済があるので、このままだと家を売却して社宅に入居するしかない。仕事内容・業務量は変わらないどころか、増収活動に清掃と増えている。将来に子育てに全く希望が持てない。40近い年齢なので転職もできるはずがない。

生活費を見直し、無駄を省く努力をしましたが、子供の入学準備に打撃を受けました。このまま低水準の賃金が続けば本気で考えなくてはならないと思います。

世の中を見ると、物価は上がるばかり。鉄道、旅行業だけが回復が見込まれない業種であり、物価上昇に対して、世の中に反対ムードがない。そんな中で賃金が上がらないと、我々の業界だけが低賃金で支出が増え続け、貯蓄を崩しながら生活せざるを得なくなる。

生活は限界だ！ 22春闘満額回答を強く求める！